

第 1 章

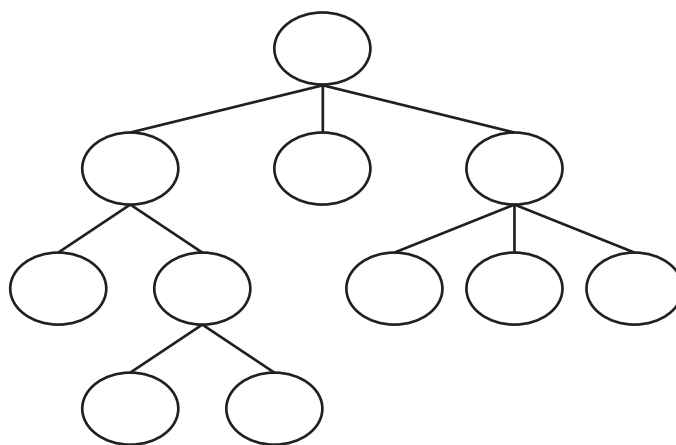
XML の処理

この章では、Re:VIEW 原稿から変換した IDGXML を紙面デザインに合わせるための加工方法を説明します。この章では、Re:VIEW 原稿から変換した IDGXML を紙面デザインに合わせるための加工方法を説明します。この章では、Re:VIEW 原稿から変換した IDGXML を紙面デザインに合わせるための加工方法を説明します。

1.1 XMLおさらい

XMLの一般的な記法ルールでは、エレメント名や属性名の間を分断してはいけないという以外は、人間にとっての見易さを優先してタブや改行を比較的自由に挿入できます。XMLドキュメントはパーサやコンバータなどの機械的処理がなされることを前提として設計され、実際にどう解釈され表現されるかは、処理するプログラムに委ねられています。

IDGXMLの話を進める前に、XML自体について簡単におさらいしておきましょう（図1.1）。



● 図 1.1 XML の例

InDesignはXMLドキュメントを読み込むことができます。

- **ノード**：XMLにおける情報単位です。ノードは、次のエレメント、コンテンツデータ、インストラクションのいずれかとなります。
- **エレメント**：「タグ」で表現されたおなじみのひと固まりの情報単位が、エレメントです。

IDGXML の特性

XMLドキュメント先頭の「<?xml version="1.0" encoding="文字コード"?>」の部分のことで、宣言ともいいます^{注1)}。ファイルの先頭に置かれ、準拠するXMLのバージョンや文字のエンコーディング名を属性で指定します（リスト1.1）。

```
doc.each_element("//tt//code") do |e|
  (...文字スタイル定義...)
  insert_after(e, "?", {"dtp" => "zerowidthnonjoiner"}, nil)
end
```

注1) 属性の値の文字列を囲む記号には、シングルクォート（'）あるいはダブルクォート（"）を使います。

● リスト 1.1 リストのキャプション

```
doc.each_element("//tt//code") do |e|
end
```

表 1.1 に、大ざっぱながら LaTeX と InDesign の比較をまとめておきます。

● 表 1.1 LaTeX と InDesign の違い

比較項目	LaTeX	InDesign
動作 OS	Unix/Linux、Windows、OS X	Windows、OS X
紙面デザイン	独特の記法でクラスファイルやスタイルファイルをプログラミング	WYSIWYG によるデザイン

```
$ git clone https://github.com/kmuto/review.git
```

手順は大まかに次のようになります。

1. 登場する紙面要素（文、見出し、扉、図表、コードリストなど）を盛り込んだ、紙面のテンプレートを作成します。図版は Adobe Illustrator あるいは Adobe Photoshop を使って別途作成しておきます。
10. 登場する Re:VIEW の原稿から変換した IDGXML を、さらにテンプレートに当てはめるための XML フィルタプログラムを作成します。

10.10

2桁の節の見出し長い見出し長い見出し長い見出し長い見出し長い見出し長い見出し

小見出し1行の例

サーバーを連携させて常に最新の結果を出力できるようにしている、というエンジニアの方も多いことでしょう。

項の長い見出し長い見出し長い見出し長い見出し長い見出し長い見出し長い見出し長い見出し長い見出し

Re:VIEW の原稿から EPUB あるいは LaTeX を利用した PDF 生成はコマンド 1 つでできる

サーバーを連携させて常に最新の結果を出力できるようにしている、というエンジニアの方も多いことでしょう。

Column InDesign にインポート可能なファイル

余談ながら、InDesign は IDGXML 以外にも、文字列コンテンツとしていくつかのファイル形式のインポートができます。**表 1.2** にそれらをまとめておきます。

● 表 1.2 InDesign にインポートできる主なファイル形式

ファイル形式	利用できる情報	説明
テキストファイル	文字列のみ	テキストファイルは最もポピュラーな形式であり、(文字エンコーディングと使用可能文字範囲を除けば) どのテキストエディタでも利用できる交換性の高いものである。Re:VIEW でテキスト形式 (review-compile --target=text) への変換を行う

この章のまとめ

- ☐ IDGXML は、Re:VIEW 原稿から変換してできる、InDesign 向けの XML ファイルです。
- ☐ InDesign は、WYSIWYG で操作できる、プロフェッショナル向けの DTP ソフトウェアです。段落や文字列などに対して紙面デザインの「スタイル」を適用することで原稿を装飾します。
- ☐ InDesign は XML や JavaScript をサポートしており、IDGXML とプログラムを使って Re:VIEW 原稿から DTP を繰り返し行うことができます。
- ☐ InDesign や IDGXML がどのような用途にも使えるというわけではありません。目的のために適切な手法かどうか、検討する必要があります。